

平成 28 年度 指定管理者年度総合評価表

(平成 28 年 4 月～平成 29 年 3 月実施分)

作成日	平成 29 年 6 月 9 日
-----	-----------------

■指定管理者概要

施設名	八戸市青葉湖展望交流施設	
所在地	八戸市南郷大字島守字北ノ畑 6 番地 2	
施設概要	設置目的：世増ダムの建設により水没した世増地区及び畑内地区並びに廃校となった旧増田小学校・中学校の通学区域において育んできた歴史と自然を後世に伝えるとともに、地域住民と都市住民との交流促進と地域活性化を図る。 構造：木造 2 階建（校舎） 運用方針：訪問者、体験者の安全に十分配慮しながら、食育・農育、伝統・文化の継承を基盤に諸体験交流を推進する。	
指定管理者	名称	山の楽校運営協議会
	代表者	狹館 博史
	所在地	八戸市南郷大字島守字北ノ畑 6 番地 2
指定期間	平成 27 年 4 月 1 日～平成 32 年 3 月 31 日	
指定管理者の業務	<ul style="list-style-type: none"> ・ 交流施設の使用の許可に関する業務 ・ 交流施設の施設、設備等の維持管理に関する業務 ・ その他市長が必要と認める業務 	
市所管課 (問合せ先)	総合政策部 南郷事務所 地域振興グループ	
	電話	0178-82-2113 (直通)
	E-mail	nango@city.hachinohe.aomori.jp

■指定管理者による自己評価

評価	味噌やそば打ちの出前講座は 10 か所以上の公民館等で実施し、企業からも依頼を受けるようになった。また南郷アートプロジェクトと連携し、香川県との「文通」ならぬ「食通」を 1 年を通して行い、地元食の普及・発信を行ったことが新聞に取り上げられたことで、山の楽校の活動をより多くの方々に知ってもらうことができた。
今後の目標	指定管理第 3 期目の 3 年目として、昨年と同様、公民館講座等における出前講座を通じて、積極的に食文化の発信に努める。また、訪問者・体験者の安全に充分配慮して活動する。

■市（所管課）の総合評価

評価	指定管理 3 期目の 2 年目の指定管理業務に当たり、これまでと同様に、適切な施設管理・収支管理が行われていた。例年のとおり多種多様な体験講座に加え、地域の自然や文化が楽しめるイベントを積極的に開催し、施設を有効活用するとともに施設の特徴や地域の魅力を伝えていた。また、8 月下旬からのひまわりの花見シーズン中には、3 度に渡り台風や大雨被害に見舞われたものの、前年度並みの利用者数を維持できたのは、指定管理者の努力と「そばとひまわりまつり」の開催が定着してきたことが挙げられる。 今後とも、南郷地域の主要な体験交流施設として、また、地域住民と市内の他地域の住民との交流の場として、来場者を古き良き伝統文化でもてなしてほしい。
指摘事項	特になし

[評価：◎非常に良い、○良い、△やや悪い、×悪い、—評価不能]

■管理運営状況に係る個別評価

1 管理状況		
指標	評価	評価に対する説明
開館時間、休館日の運用	◎	業務基準書に示された内容と比べ、開館時間を延長するなど市民サービスの向上に努めていた。 ・開館時間は朝と夕方それぞれ30分間延長し、8:00～17:00までとしている。
法令の遵守	○	施設管理運営に関する関係法令が遵守されていた。
適正な人員配置	○	人員及び資格者を適正に配置していた。
従事者の労働環境確保	○	労働関係法令が遵守されていた。 ・最低賃金等の労働関係法令が遵守されていた。
協働のまちづくりへの協力 ※募集時に提案していた場合(選定時加点)	○	提案内容のとおり地域貢献活動が行われた。 ・南郷サマージャズフェスティバルの開催に合わせて地区内の清掃・草刈作業をボランティアで実施していた。
従事者の教育・研修	○	従事者の教育等が適切に行われていた。 ・指定管理業務に支障が出ないよう随時必要な教育等を行っていた。
緊急事態への対応	○	事故、災害等の緊急事態への対応(準備)が十分できていた。 ・台風により閉館時間を早める旨の報告が速やかに行われた。
文書の管理保存	○	文書取扱規程が整備されていた。 ・作成、受領した文書が適切に管理されていた。
報告書等の提出	○	事業計画、月例報告書、事業報告書、その他報告等が遅滞なく適切に提出されていた。
利用料金の取扱い ※承認料金制の場合	○	利用料金の設定は適切で、各種媒体を使い確実に周知されていた。
利用料金の減免 ※承認料金制の場合	—	利用料金の減免申請は無かった。
口座管理、経理の区分	○	指定管理業務に関する収支は専用口座で管理し、経理区分も整理されていた。
通帳、印鑑の管理	○	通帳と印鑑の管理が適切であった。 ・通帳、印鑑をそれぞれ別の職員が管理していた。
管理物件に対する損害賠償、第三者への賠償	—	事例なし
付保する保険 ※協定書で指定管理者に保険加入を指定している場合	○	協定書で指定する保険に加入していた。 ・生産物賠償保険に加入していた。
指定管理開始前における準備	—	22年度から26年度、27年度から31年度と継続して指定管理者の指定を受けているので、対応なし。
管理終了後における引継ぎ	—	22年度から26年度、27年度から31年度と継続して指定管理者の指定を受けているので、引継ぎなし。
重要事項の変更の届出	—	届出の必要な事例なし

施設の使用許可及び条件	○	施設使用許可が施設設置条例に基づき適切に行われていた。(使用制限、使用条件の変更、入場拒否はなかった。)
施設、設備の保守管理	○	施設、設備の保守管理(点検や修繕等)が適切に行われていた。
備品の管理	○	備品の管理(点検や修繕等)が適切に行われていた。
清掃業務、警備業務、 その他必要な管理業務	○	清掃業務、警備業務、その他必要な管理業務が適切に行われていた。 ・浄化槽保守点検及び清掃業務、警備業務、消防設備点検業務は外部業者に委託していた。 ・業務完了報告書などで実施を確認した。

2 運営状況

指標	評価	評価に対する説明
指定管理業務利用状況	○	一番の書き入れ時である「そばとひまわりまつり」開催中は悪天候に見舞われたが、施設利用者数は前年度並みを維持することができた。 ・24年度 30,443人 ・25年度 39,139人 ・26年度 50,591人 ・27年度 62,119人 ・28年度 60,800人
施設貸出し状況	○	年間を通して平均的に利用されていた。 ・第1交流室 23回(前年度34回) ⇒そば打ち体験楽校、布ぞうり・布編みスリッパの楽校等 ・温室栽培施設 4棟(前年度4棟) ・体育館 61回(前年度57回) ⇒そば打ち体験楽校、てんぽせんべい焼体験、もちつきの楽校等 ・農産物加工施設 82回(前年度43回) ⇒豆腐製造、豆の楽校(みそ、豆しとぎ)梅漬けの楽校等
その他利用状況	○	各種メディアの取材を積極的に受け入れ、施設概要や体験講座のPRを積極的に行い施設の利用向上に努めた。 ・ラジオ 9件 ・テレビ 11件 ・新聞 12件 ・その他(雑誌・視察等) 16件 計48件
自主事業	○	自主事業を多数実施し、施設訪問者の増加に効果があった。 ○体験講座 定期的に開催する各種講座や、利用者からの申込みにより随時実施する各種体験などが年間を通して開催された。 ・体験講座数 42講座(前年度38講座) ・開催数 94回(前年度120回) ・参加人数 2,597人(前年度4,848人) 体験講座の参加人数が大幅に減少した要因としては、8月から9月にかけての3度の台風・大雨によりひまわりが倒され、またひまわり畑のぬかるみがひどく足場の状態が悪かったため、やむを得ずひまわり畑への立ち入りを禁止したことが挙げられる。 ○イベント 地域の自然や文化が楽しめるイベントを積極的に開催し、施設のPRや利用者の増加に努めていた。来場者数が過去2番目に多かった要因としては、「そばとひまわりまつり」の認知度が年々上がってきたことが挙げられる。 ・来場者数 29,563人(前年度34,034人) (山の楽校まつり、そばとひまわりまつり、新そばまつり、雪蛸まつり、スノーモービル体験会等)

その他の取組 (運営に関する工夫)	○	自主的なサービスを行った結果、サービスの向上に効果があった。 ・そば打ち体験などの出前講座の回数を増やし、積極的にPRに努めた。(H26:5回、H27:13回、H28:14回)
----------------------	---	---

3 収支状況

指標	評価	評価に対する説明																																																					
指定管理業務の収支状況	○	<p>適切な業務運営により黒字であった。</p> <p>(単位：円)</p> <table border="1" data-bbox="630 470 1460 940"> <thead> <tr> <th></th> <th>項目</th> <th>収支計画</th> <th>収支実績</th> <th>前年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">収入①</td> <td>利用料金</td> <td>570,000</td> <td>868,670</td> <td>851,150</td> </tr> <tr> <td>指定管理料</td> <td>8,924,000</td> <td>8,924,000</td> <td>8,924,000</td> </tr> <tr> <td>雑収入</td> <td>0</td> <td>29</td> <td>287</td> </tr> <tr> <td>修繕料繰越金</td> <td>23,760</td> <td>23,760</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>9,517,760</td> <td>9,816,459</td> <td>9,775,437</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">支出②</td> <td>人件費</td> <td>5,897,000</td> <td>5,360,625</td> <td>5,577,946</td> </tr> <tr> <td>維持管理経費</td> <td>3,385,760</td> <td>3,252,449</td> <td>3,325,310</td> </tr> <tr> <td>事業費・一般事務費</td> <td>235,000</td> <td>254,427</td> <td>237,014</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>9,517,760</td> <td>8,867,501</td> <td>9,140,270</td> </tr> <tr> <td></td> <td>次年度修繕料繰越金③</td> <td>0</td> <td>74,933</td> <td>23,760</td> </tr> <tr> <td></td> <td>収入－支出(①－②－③)</td> <td>0</td> <td>874,025</td> <td>611,407</td> </tr> </tbody> </table>		項目	収支計画	収支実績	前年度実績	収入①	利用料金	570,000	868,670	851,150	指定管理料	8,924,000	8,924,000	8,924,000	雑収入	0	29	287	修繕料繰越金	23,760	23,760	0	計	9,517,760	9,816,459	9,775,437	支出②	人件費	5,897,000	5,360,625	5,577,946	維持管理経費	3,385,760	3,252,449	3,325,310	事業費・一般事務費	235,000	254,427	237,014	計	9,517,760	8,867,501	9,140,270		次年度修繕料繰越金③	0	74,933	23,760		収入－支出(①－②－③)	0	874,025	611,407
	項目	収支計画	収支実績	前年度実績																																																			
収入①	利用料金	570,000	868,670	851,150																																																			
	指定管理料	8,924,000	8,924,000	8,924,000																																																			
	雑収入	0	29	287																																																			
	修繕料繰越金	23,760	23,760	0																																																			
	計	9,517,760	9,816,459	9,775,437																																																			
支出②	人件費	5,897,000	5,360,625	5,577,946																																																			
	維持管理経費	3,385,760	3,252,449	3,325,310																																																			
	事業費・一般事務費	235,000	254,427	237,014																																																			
	計	9,517,760	8,867,501	9,140,270																																																			
	次年度修繕料繰越金③	0	74,933	23,760																																																			
	収入－支出(①－②－③)	0	874,025	611,407																																																			
自主事業の収支状況	○	<p>収支計画を達成し、黒字であった。</p> <p>収入 3,116,055 円 (計画 2,750,000 円 前年度実績 3,810,957 円) 支出 1,841,148 円 (計画 2,750,000 円 前年度実績 2,226,153 円) 収支 1,274,907 円 (計画 0 円 前年度実績 1,584,804 円)</p> <p>・当初の見込みより参加者が多くなり黒字となった。</p>																																																					

4 運営に係る体制整備等の状況

指標	評価	評価に対する説明
利用者満足度の把握	○	<p>利用者アンケート調査及びその結果を活かす仕組みができていた。</p> <p>・利用者ノート(自由記述)を設置し、利用者や来訪者の率直な意見を取り入れる仕組みを整備し、より良い施設管理に役立てていた。</p> <p>・利用者から送られてきた礼状などを貼り出しているが、その内容からも、満足度の高さをうかがい知ることができる。</p>
施設概要(利用方法)の周知	○	<p>施設概要や利用方法等をホームページ等で積極的に周知していた。</p> <p>・体験講座やイベントなどの開催概要について、市の広報誌やホームページ等で周知していた。</p>
苦情・要望等の受付体制	○	<p>苦情・要望等の受付体制を明示し、周知していた。</p> <p>・苦情・要望・感想等を自由に記述できる利用者ノートを設置していた。</p>
苦情・要望等への対応	—	苦情・要望等が無かった。
個人情報の保護	○	個人情報保護の規程が整備され、遵守されていた。(運用実績なし)
情報公開	○	情報公開の規程が整備され、遵守されていた。(運用実績なし)
秘密保持義務	○	秘密保持義務が守られ、適切に対応されていた。

環境への配慮	<p>○ 環境に配慮した、物品購入、省エネルギーへの取り組み、リサイクル推進等の対応が適切に行われていた。</p> <p>・ 昨年に引き続き、生ごみを堆肥として再利用しており、自主事業においてもEM（有用微生物群）を使った環境に優しい石けんや田んぼ作りを広めていた。</p>
--------	---

■他の事業評価実施状況

1 セルフモニタリング

	実施状況
自主点検状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 建物、備品については随時、浄化槽、防火設備については定められた期間内に点検を実施した。 ・ 点検で異常が見つかった場合は、速やかに修繕等を実施する対応ができた。 ・ 施設管理運営や自主事業等について定期的にミーティングを開催し、反省・改良点を確認した。

2 定期モニタリング

	実施状況
定期報告状況	年度事業計画書、年度収支計画書、月例業務報告書、年間事業報告書が適切に提出され、内容も適切であった。

3 随時モニタリング

	実施回数	実施日	実施者	実施内容
実地調査状況	17回	4月6日	担当	書類・帳簿等の確認
		4月15日	担当	書類・帳簿等の確認
		5月17日	担当	駐車場整備予定地現場確認
		5月18日	担当	書類・帳簿等の確認
		6月3日	担当	駐車場整備予定地立会確認
		6月17日	担当	書類・帳簿等の確認
		6月20日	担当	駐車場整備工事にかかる打ち合わせ
		7月13日	担当	書類・帳簿等の確認
		9月29日	担当	施設管理運営に関する事務確認
		10月28日	担当	書類・帳簿等の確認
		11月17日	担当	書類・帳簿等の確認
		11月25日	担当	施設管理運営に関する事務確認
		12月14日	担当	書類・帳簿等の確認
		12月22日	担当	書類・帳簿等の確認
		2月8日	担当	新年度予算・事業等について確認
		2月16日	担当	書類・帳簿等の確認
		3月23日	担当	書類・帳簿等の確認
実施結果				
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の実施及び施設の維持管理は問題なく行われていた。 ・ 書類・帳簿等は適切に処理され、保管状況も良好であった。 				